

いざのための、シミュレーション研修



体育の水泳学習の授業中、自由時間に、児童がプールの中で遊んでいた。監視をしている教諭がプールの底に沈んでいる2年生男子A君を発見した。A君は泳ぎが少し苦手であった。教諭は、急いで飛び込み、A君をプールサイドに引き上げた。



卵アレルギーがあり、給食は卵除去の対応食を食べていた6年生のA君は、主治医の指示で4月から卵除去が解除となり、通常給食となった。家庭科の時間に卵焼きを作る調理実習があり、A君は、卵を素手で割って作っていた。しばらくして、両腕にじんま疹が出てきて、腕を掻きむしっているA君に担任が気づいた。

5月18日(月)救急救命士と消防士の4人を講師に招き、シミュレーション研修を実施しました。具体的な場面設定をもとに、役割ごとに動きを学びました。大切なことは、ためらわずに119番通報し、時系列で動きを記録すること。また、血圧、血中酸素、体温を5分おきくらいに計測し、体調の変化を見ることでした。卵アレルギーについては、食べなくても、卵のからに触っただけでも、接触からアレルギーになること、エピペンは温度15度～30度、それ以上以下でも効力がなくなることを知りました。毎年体験しても、新しい発見があり勉強になりました。